

稲葉ダムだより

発行: 稲葉ダム安全衛生連絡協議会
事務局 鹿島・大林・さとうJV 稲葉ダム本体建設工事事務所
竹田市大字下坂田830
TEL 0974-66-3939 FAX 0974-66-3940

梅雨の季節を前に、稲葉ダム近隣地区の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。平素はダム建設工事に格段のご理解とご協力を頂き有難うございます。

当工事におきましたは、本体工事、貯水池対策工事(1工区、2工区、3工区、7工区)、残土処理場工事が最盛期を向かえ活況を呈しています。

本体工事は、昨年6月13日に定礎式以来、早1年が経ちました。農産加工センターからもダム本体の姿がハッキリと見えるようになりました。貯水池対策工事の1工区、3工区、7工区につきましても掘削がほぼ終了し、大方の完成形が見て取れる様になりました。

今後は、コンクリート打設工事が中心となって参りますが、工事の進捗に伴い、各社との連絡調整を密にし現場内の安全はもとより現場外の交通安全等にも十分注意していきますので、今後とも宜しくお願いします。

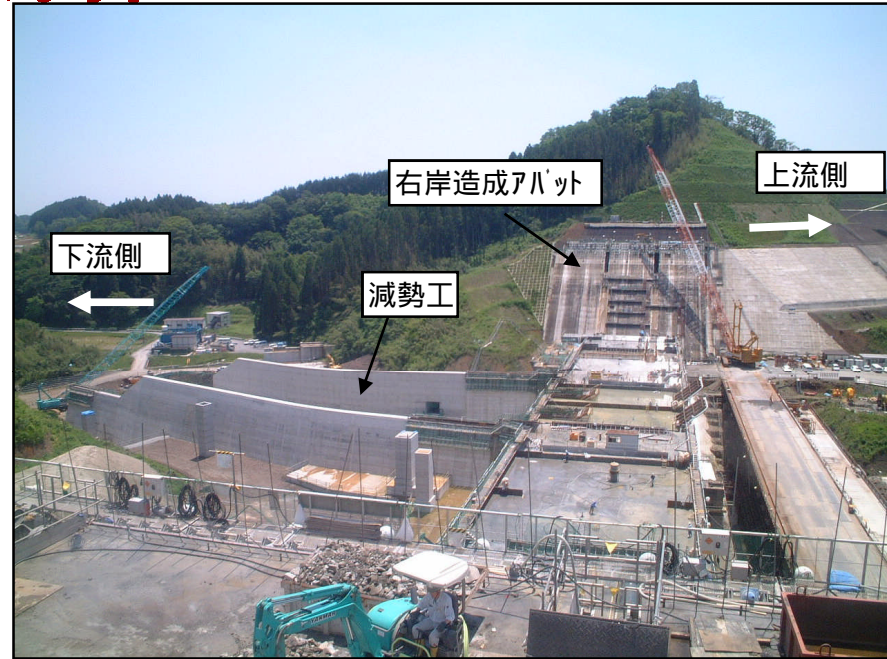
お知らせ

引き続き発破作業を下記のとおり実施いたします。退避のご協力をお願いします。
原石山の発破は、毎日12:00と17:00の2回行っています(基本的に土日は行いません)。

* 現場見学をご希望の際は、当企業体もしくは竹田ダム建設事務所まで、お気軽にご連絡下さい。

現場のようす

本体工事



5月末で本体コンクリートが
139,000m³
打設完了予定です。
(全体打設量22万m³)

稲葉ダム本体工事
撮影日:平成18年5月24日

貯水池遮水工事

1工区

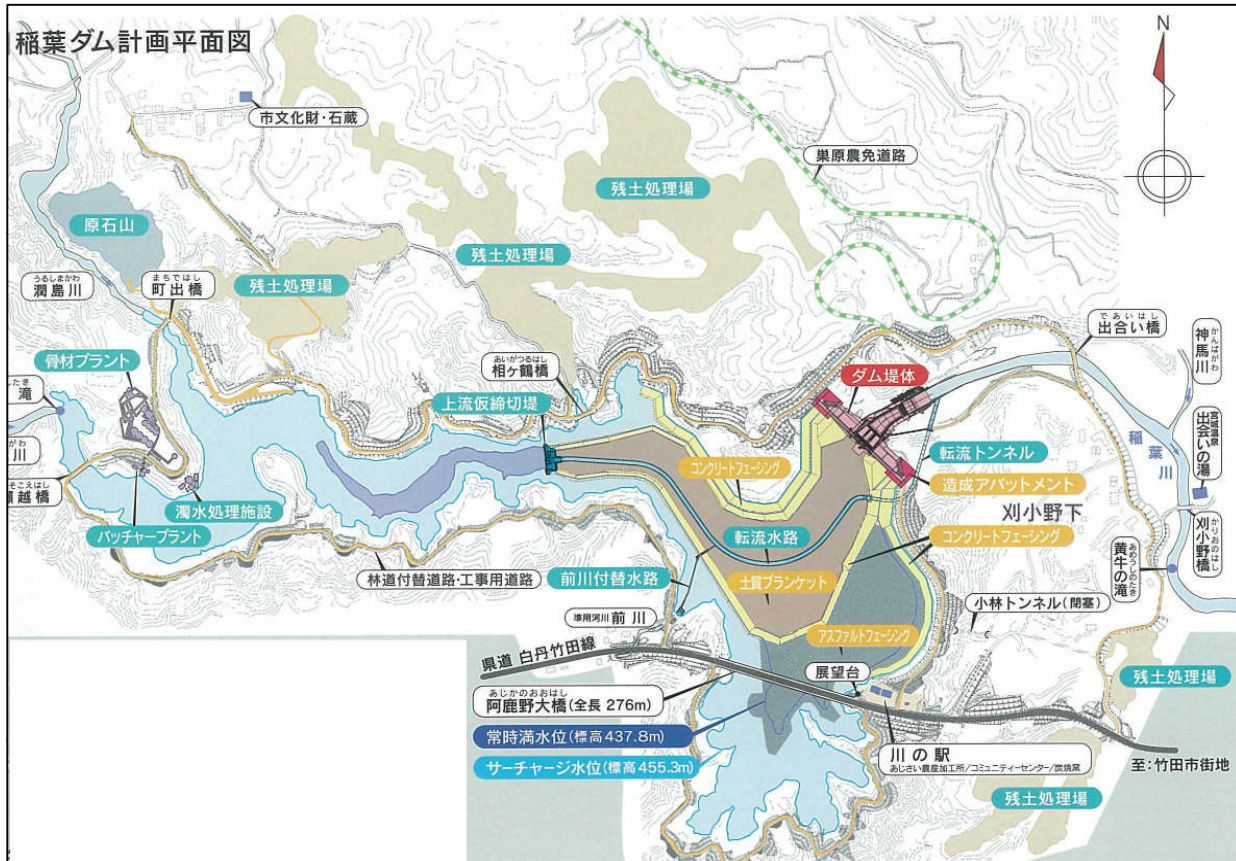


貯水池対策工事

3工区



貯水池対策工事(上流仮締切付近)

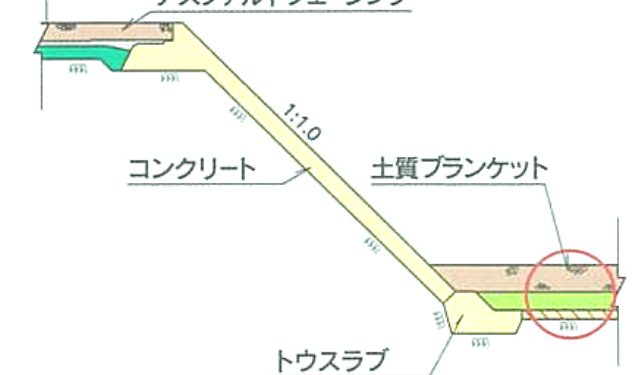


貯水池対策工事でこれからメインとなるコンクリート構造物について、説明します。

このコンクリート構造物は、ダムに貯水した時に、岩盤にある割れ目(クラック)から水が漏れないように遮水する施設の一部です。

稲葉ダムでは、右の図面の黄色い部分が、その個所になります。当工事では、『コンクリートフェーシング』と呼ん

〔C部〕コンクリートフェーシング



基礎擁壁(トウスラブ)を築造し、傾斜部の遮水材としてコンクリートを設けます。